

2025年度 決算説明会資料

(アナリスト、機関投資家向け)

2026年5月13日
プリマハム株式会社
(東証プライム市場：2281)

注 意 事 項

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断や仮定のものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。従って実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

【お問合せ先】

〒140-8529

東京都品川区東品川4-12-2 GRC品川イノベーションパーク

プリマハム株式会社 総務・広報部

TEL：03-6386-1800

当社HPからお問い合わせが可能です。 ※以下をクリックしてアクセスしてください。

[プリマハム | IR・投資家情報 | IRに関するお問い合わせ \(primaham.co.jp\)](https://primaham.co.jp)

1

2025年度業績実績

2

2026～2028年度中期経営計画

3

ご参考資料（業績推移）

2025年度 連結損益実績

【連結損益】	前年		2025年度			
	通期	売上高比	通期	売上高比	前年差	増減率
売上高	4,584	-	4,756	-	+172	+3.8%
売上原価	4,099	89.4	4,230	88.9	△131	△3.2%
売上総利益	485	10.6	526	11.1	+41	+8.4%
販売管理費	395	8.6	434	9.1	△39	△9.9%
営業利益	89	2.0	91	1.9	+2	+2.0%
経常利益	105	2.3	112	2.4	+7	+6.5%
特別利益	27	0.6	12	0.2	△15	△57.1%
特別損失	23	0.5	37	0.8	△14	△61.5%
税金等調整前当期純利益	109	2.4	87	1.8	△22	△20.6%
当期純利益	71	1.6	24	0.5	△47	△66.2%
非支配株主帰属当期純利益	1	0.0	▲22	-	△22	-
親会社株主帰属当期純利益	71	1.5	46	1.0	△25	△35.2%

2025年度レビュー

- 売上高は過去最高を更新。主力のハム・ソーセージ、食肉のトレード拡大が寄与
- 営業利益はCVSベンダー事業、海外事業会社の不振により前年比ほぼ横ばい。
- 当期純利益は一部事業会社の固定資産減損等により、前年減益。

【単体損益（プリマハム単体）】

(億円 %)

	前年実績	2025年度		
		当期	前年差	増減率
売上高	3,345	3,532	+187	+5.6%
営業利益	62	94	+32	+51.8%
経常利益	110	131	+21	+18.8%
当期純利益	80	106	+25	+31.5%

【期初業績予想(25/5/7発表) 比較】

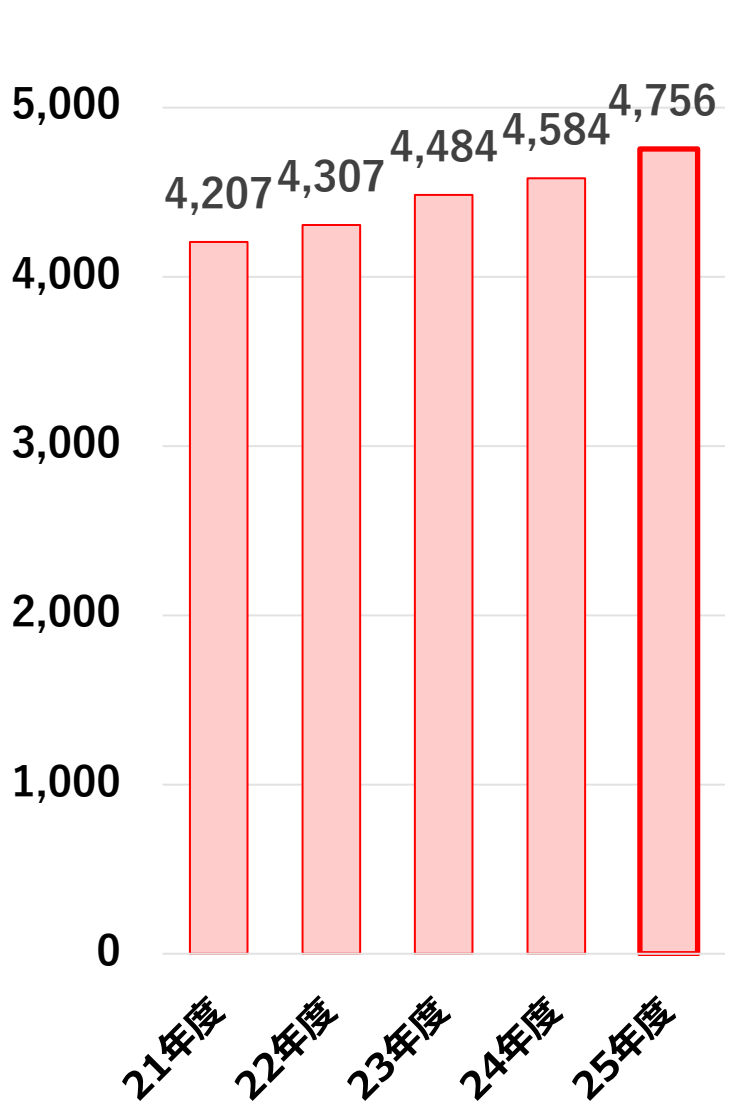
(億円 %)

	期初 業績予想	当期実績	差	増減率(%)
売上高	4,800	4,756	△44	△0.9%
営業利益	120	91	△29	△23.9%
経常利益	130	112	△18	△14.0%
親会社株主帰属当期純利益	80	46	△34	△42.7%

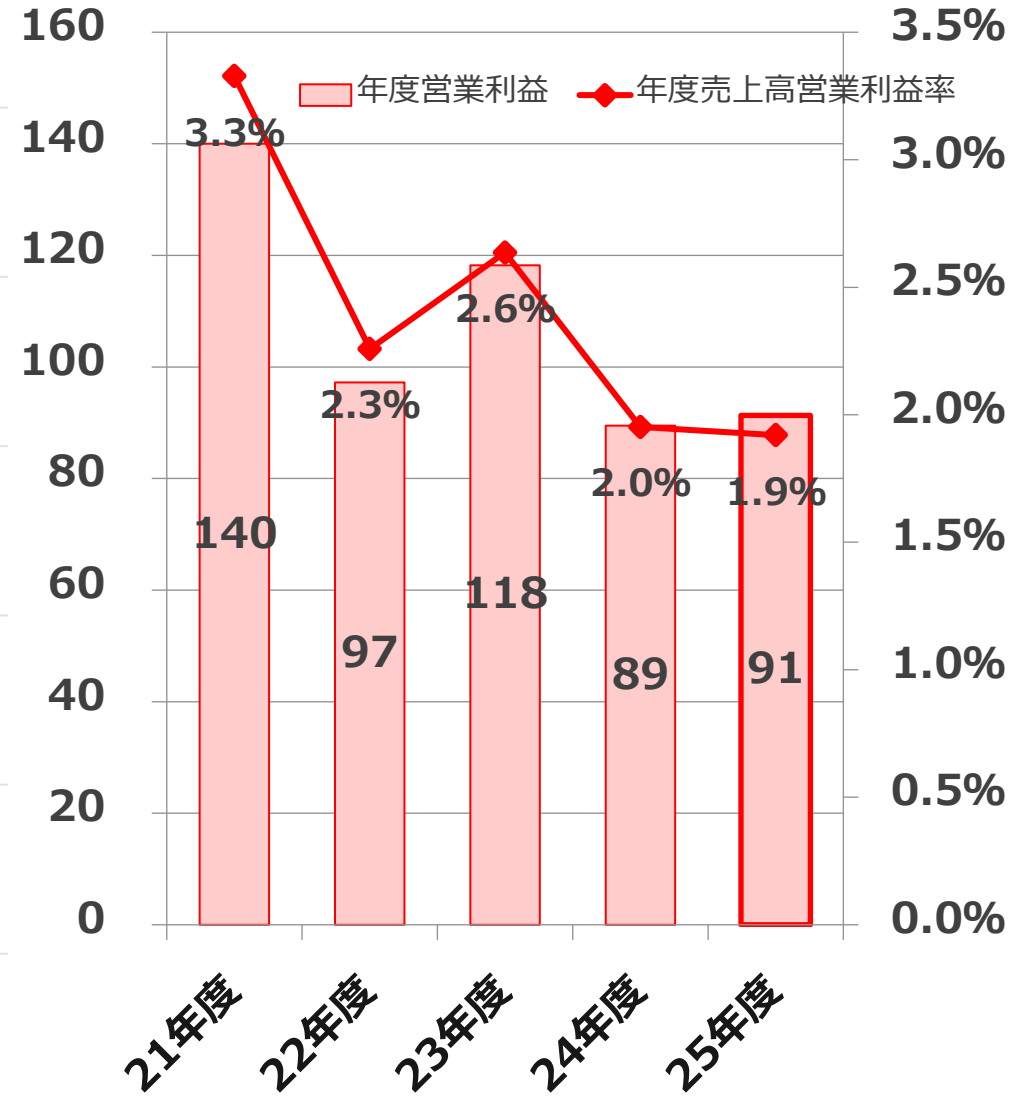
連結売上高、営業利益、当期純利益の推移

単位：億円

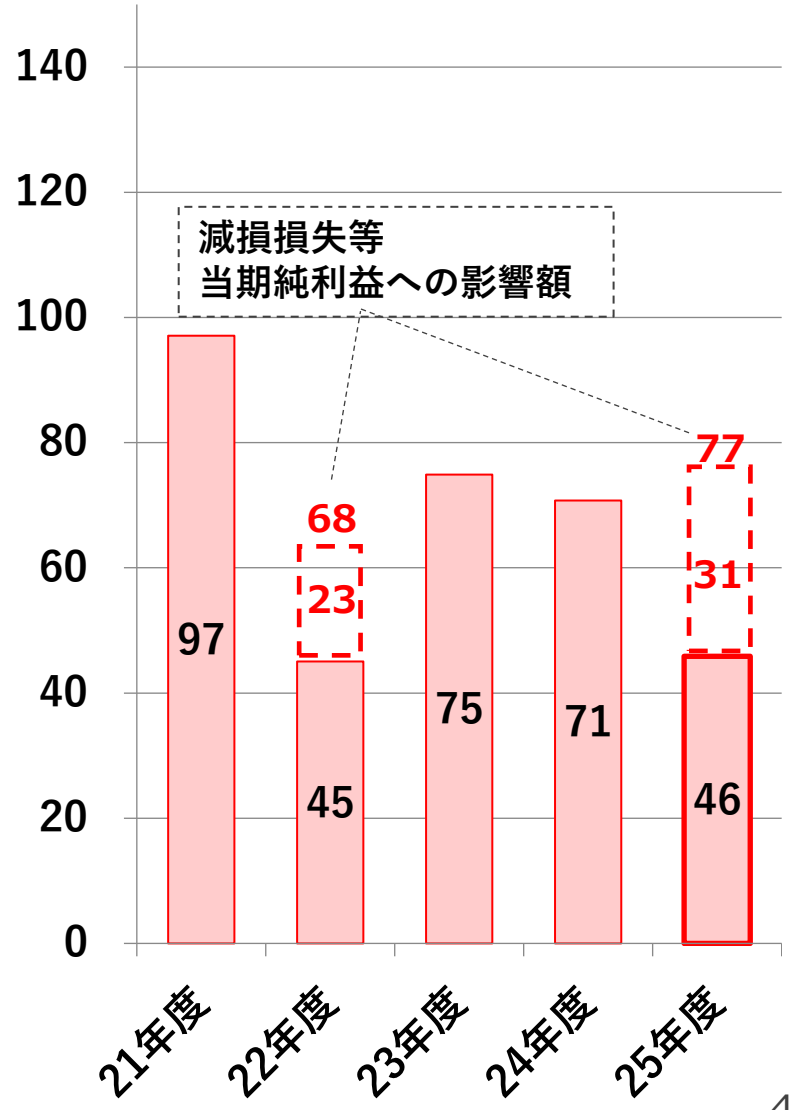
連結売上高



連結営業利益、営業利益率



連結純利益・当期純利益



2025年度 セグメント別

(億円 %)

		前年 実績	2025年度		
			当期	前年差	増減率
加工食品事業部門	売上高	3,135	3,146	+11	+0.4%
	営業利益	79	79	+0	+0.1%
	営業利益率	2.5%	2.5%	△0.0%pt	-
食肉事業部門	売上高	1,442	1,601	+159	+11.0%
	営業利益	12	19	+7	+60.4%
	営業利益率	0.8%	1.2%	+0.4%pt	-
その他	売上高	7	9	+2	+30.5%
	営業利益	3	3	△0	△3.6%
調整額※	営業利益	▲5	▲10	△5	+113.4%
連結合計	売上高	4,584	4,756	+172	+3.8%
	営業利益	89	91	+2	+2.0%
	営業利益率	2.0%	1.9%	△0.0%pt	-

2025年度レビュー

- ・ セグメント別では食肉事業が増益。
- ・ 加工食品事業は主力のハム・ソーセージは伸長。CVSベンダー事業の不調により、横ばい。

【商品別売上高】

		(億円 %)			
		前年 実績	2025年度		
			当期	前年差	増減率
ハム・ソーセージ	1,185	1,246	+60	+5.1%	
加工食品 他	746	783	+37	+4.9%	
総菜（ベンダー子会社）	1,017	950	△67	△6.6%	
食肉※	1,607	1,748	+141	+8.7%	
合計	4,584	4,756	+172	+3.8%	

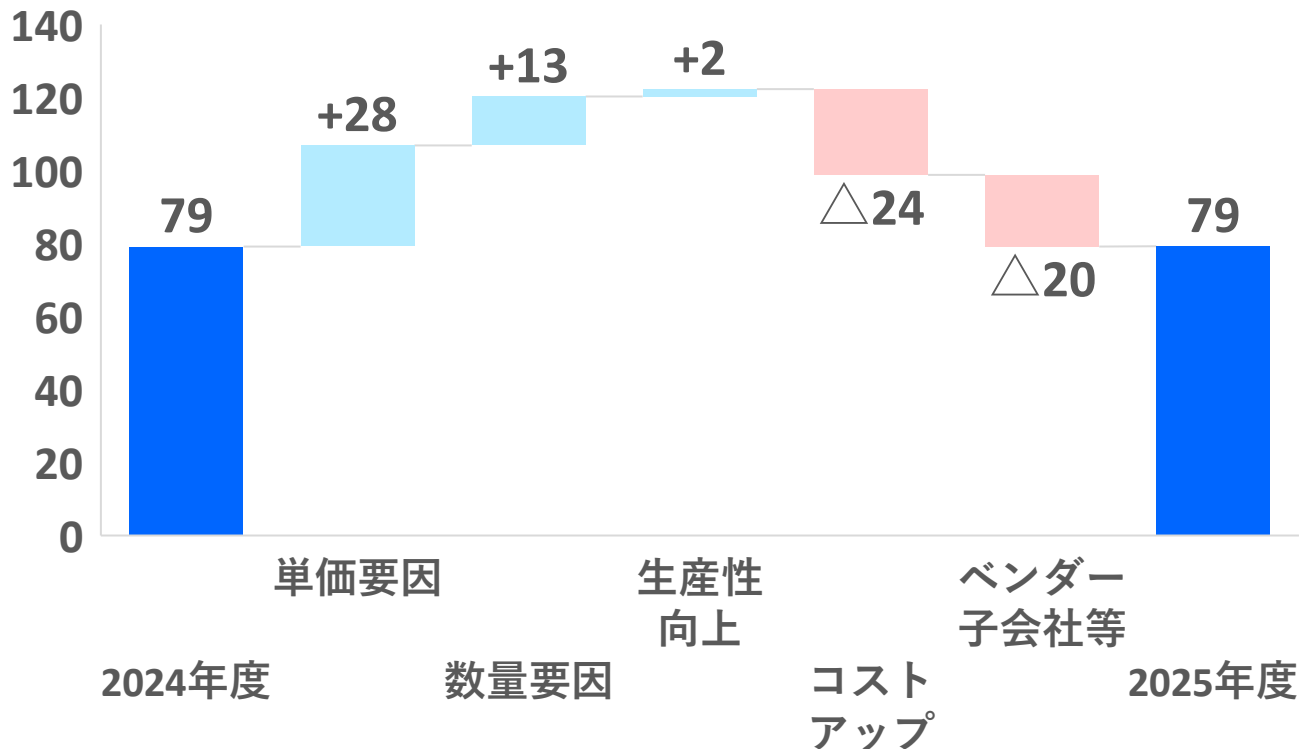
【ベンダー子会社損益】

		(億円 %)			
		前年実績	2025年度		
			当期	前年差	増減率
売上高	1,017	950	△67	△6.6%	
営業利益	3	▲16	△20	△626.8%	

注記) ※調整額・各セグメントに帰属しない全社費用

加工食品事業部門 営業利益 要因別増減

	前年実績	2025年度		
		当期	前年差	増減率
売上高	3,135	3,146	+11	+0.4%
営業利益	79	79	+0	+0.1%
営業利益率 (%)	2.5%	2.5%	△0.0%pt	-



- 価格改善、販売数量増加、生産性向上により人件費・物流費等のコストアップを吸収。
- ベンダー事業のマイナスにより、ほぼ横ばいの営業利益。

○収益改善 +43億円

- 売価改善 +28億円
- 数量要因 +13億円
- 生産性改善 +2億円

○コストアップ △24億円

主原料、副原料、物流コストなどの上昇

○ベンダー子会社 △20億円

加工食品事業 商品別販売数量及び人時生産性

1. ハム・ソーセージ

- ・ コンシューマ商品の伸長により販売数量は増加。
- ・ 価格政策と販促施策の連動により、ハムソーシェア1.0%拡大。
- ・ 主力コンシューマの香薫ウィンナーは引き続き数量拡大。一方、原料相場の上昇によりベーコン群の数量減少。

① 全体（販売数量 前年比）

	22年度	23年度	24年度	2025年度					構成比
				1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
ハム・ソーセージ計	101	103	101	101	99	100	103	101	
コンシューマ商品	101	103	103	101	100	102	105	102	78.0
業務用商品	102	104	93	99	97	94	97	97	21.4
ギフト	97	83	84	91	78	83	75	82	0.6

② コンシューマ主要品（販売数量 前年比）

	22年度	23年度	24年度	2025年度				
				1Q	2Q	3Q	4Q	通期
ウィンナー群	106	105	105	109	108	110	112	110
香薫ウィンナー	107	107	105	112	110	111	112	112
ロースハム群	99	102	105	99	98	98	100	99
ベーコン群	96	102	102	92	90	90	90	91

コンシューマシェア (ハムソーセージSCI)	+0.9%pt	+1.1%pt	+1.4%pt	+1.0%pt
---------------------------	---------	---------	---------	----------------

③ 人時生産性 前年比増減率推移

	22年度	23年度	24年度	25年度
ハム・ソーセージ	+2.0%	△0.7%	△1.1%	+0.8%

2. 加工食品（ハム・ソーセージ以外）

- ・ コンシューマ、業務用共に販売数量増加。
- ・ ハムソー同様、価格政策と販売促進策が奏功。
- ・ 業務用は、CVS向け唐揚げの販売好調が貢献。

① 全体（販売数量 前年比）

	22年度	23年度	24年度	2025年度					構成比
				1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
加工食品計	99	100	92	101	109	106	100	104	
調食コンシューマ	103	97	102	102	105	102	104	103	32.4
調食業務用商品	100	103	89	108	118	118	100	111	49.5
調味生肉	95	99	87	80	96	95	95	91	18.1

② コンシューマ主要品（販売数量 前年比）

	22年度	23年度	24年度	2025年度				
				1Q	2Q	3Q	4Q	通期
ハンバーグ群	91	91	88	88	101	109	107	101
ミートボール群	100	75	98	125	112	107	102	111
サラダチキン群	95	101	102	103	103	103	111	105
フライコンシューマ群	115	105	111	106	103	105	109	106

③ 人時生産性 前年比増減率推移

	22年度	23年度	24年度	25年度
加工食品	△1.0%	△1.3%	△7.8%	+3.9%

営業・マーケティング

■市場シェア拡大

- ▶「香薫あらびきポークウィンナー」数量拡大
 - ・香薫大袋 発売10周年記念 期間限定増量



- ▶多様化する食ニーズに応える商品開発
 - ・26春の新商品発売 新たな食べ方、価値を提案



ジョンソンヴィル
ウィンナー発売

■フードサービス事業の強化

- ▶外食、問屋向け ⇒ 新規開拓、既存取引先との取引拡大

■TVCM、キャンペーン、SNS等を活用したファン層拡大



ジョンソンヴィルウィンナー
TVCM



SNSを活用した販売促進



キャラクターを通じた
ファンづくり

生産

■シェア拡大に対応した商品の安定供給体制の構築

- ▶生産効率上昇に向けた生産ラインでの改善取り組み
- ▶生産能力の増強
 - ・茨城工場ウィンナーラインの能力増強など

- ▶自動化、省人化の取り組み
 - ・AIを活用した自動化、ラインの連続化

■環境配慮の取り組み

- ▶再生可能エネルギー等への切り替え

その他

■物流規制への対応 チルド物流研究会

- ・一部エリアでの共同配送開始

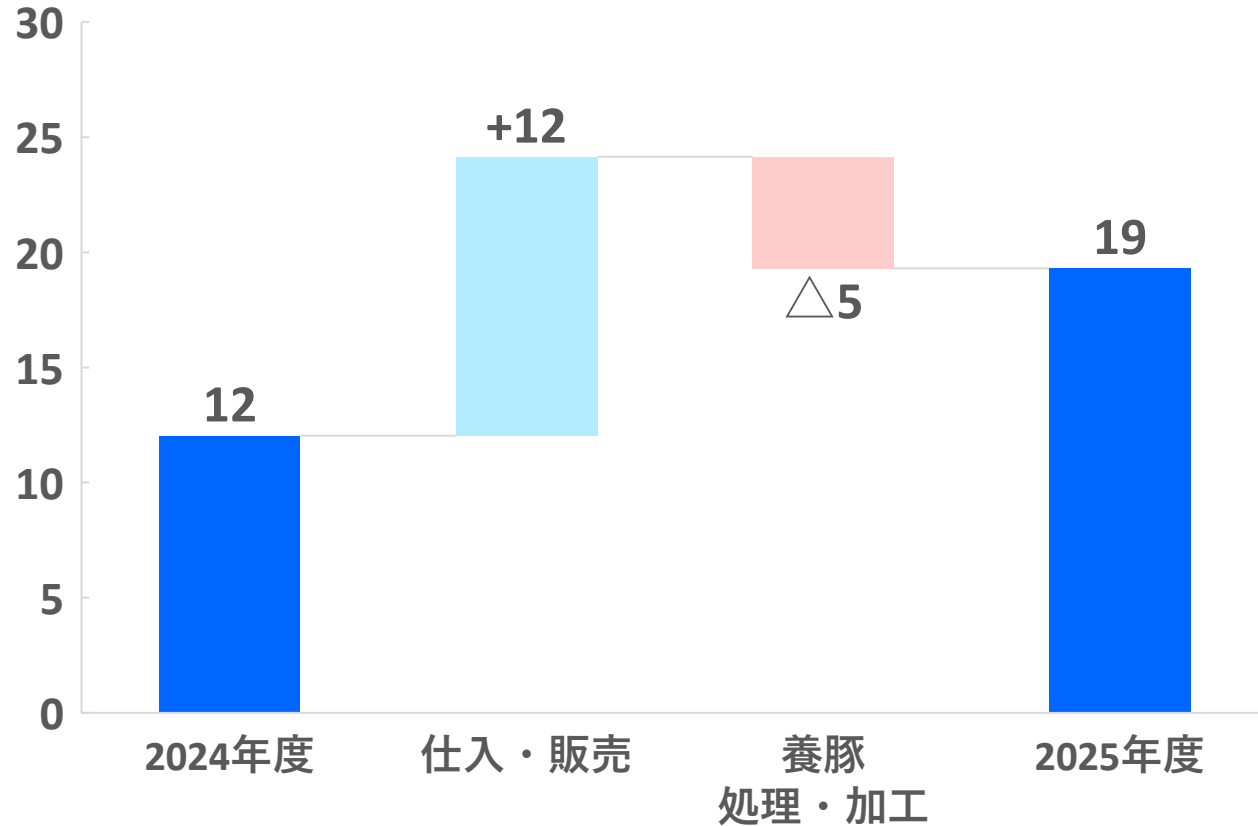
ベンダー子会社

■お客様の要望に応えた新商品開発と積極的な市場への供給を継続

■グループ各部門と連携した収益改善に向けた取り組み

食肉事業部門 営業利益 要因別増減

	前年実績	2025年度		
		通期	前年差	増減率
売上高	1,442	1,601	+159	+11.0%
営業利益	12	19	+7	+60.4%
営業利益率 (%)	0.8%	1.2%	+0.4%pt	-



・ 国内養豚事業は疾病等の影響を受けて、減益も、輸入鶏・輸入豚のトレード収益が伸長。全体としては増益。

○仕入・販売 **+12億円**

当社主力商品で品位の高いタイ産米どり、カナダ産 ハーブ三元豚などを拡大し、収益改善。

○養豚 **△ 5億円**

枝肉重量増加は実現したが、減耗頭数の増加により、出荷頭数は減少。

仕入・販売

○販売数量拡大に向けた取り組み

▶オリジナルブランドの拡販、育成

- ・ 恵味の黒豚：鹿児島県産、プリマハムグループ一貫管理体制
- ・ ハーブ三元豚：カナダ産、ハイライフ社（カナダ最大の養豚企業）
- ・ 味わい葡萄牛：オーストラリア産、ロンググレインフェッドビーフ
- ・ ライムストーンコーストブラックアンガス：南オーストラリア産、アンガスビーフ
- ・ 米どり：タイ産・契約農場で育てたブランド鶏肉



○消費者、取引先ニーズに合わせた仕入れ、商品開発

- ▶幅広い仕入れ先の確保（新規の産地、パッカー開拓）
- ▶副産物（内臓等）の販売強化
- ▶オリジナルブランド原料使用の商品開発

○仕入ロス、在庫管理の徹底

【実績】 [25年度 販売数量前年比]

	前年同期比
牛肉	112%
豚肉	110%
鶏肉	114%
合計	111%

[養豚 出荷頭数実績]

年度	出荷頭数
23年度	46万頭
24年度	46万頭
25年度	43万頭

25年度 昨比 93%

養豚

○既存農場の生産効率改善、品質向上、設備更新（暑熱対策）

○国産豚肉 川上～川下事業の連携強化による収益向上

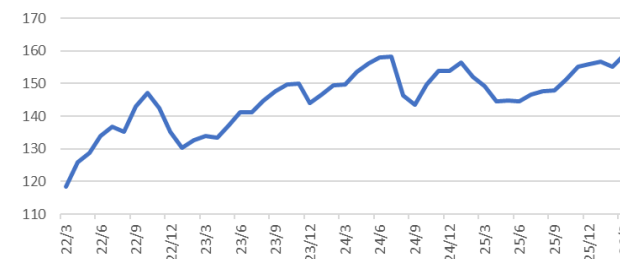
○アニマルウェルフェアの取り組み

- ・ WOAH基準、農林水産省の指針に沿った自社基準の運用

【外部環境】

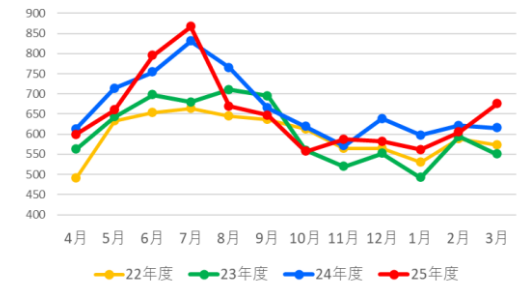
○為替

為替相場（ドル）月次平均推移



○国産豚肉相場

東京市場 豚上枝肉（円/kg）



○飼料価格

JA全農配合飼料価格（全国全畜種平均）

22年度	14,750円値上げ↗
23年度	3,900円値下げ↘
24年度	4,500円値下げ↘
25年度	1,050円値上げ↗

25年度1Q	400円値下げ↘
25年度2Q	2,200円値下げ↘
25年度3Q	550円値下げ↘
25年度4Q	4,200円値上げ↗

連結貸借対照表

(億円)

	24年度 期末	25年度 期末	期末 増減
流動資産	996	1,037	+41
現金及び預金	123	98	△25
預け金	1	4	+3
受取手形及び売掛金	484	493	+9
たな卸資産	355	358	+3
その他	33	85	+52
固定資産	1,400	1,376	△24
有形固定資産	970	942	△28
無形固定資産	142	221	+78
投資その他資産	288	213	△74
資産合計	2,396	2,413	+17

※期末休日要因による増減影響： 無

【セグメント別資産】

(億円)

	24年度 期末	25年度 期末	増減
加工食品セグメント	1,709	1,619	△91
食肉セグメント	425	457	+32
その他（調整額含む）	262	337	+75
資産合計	2,396	2,413	+17

	24年度 期末	25年度 期末	期末 増減
負債合計	1,094	1,107	+14
流動負債	817	853	+36
固定負債	277	254	△22
純資産合計	1,302	1,305	+3
株主資本合計	1,111	1,117	+6
資本金 + 資本準備金	181	181	△0
利益剰余金	934	939	+6
自己株式	▲ 4	▲ 4	△0
その他包括利益合計	83	103	+20
非支配株主持分	108	86	△22
負債純資産合計	2,396	2,413	+17

(億円)

	24年度 期末	25年度 期末	期末 増減
有利子負債 (億円)	221	199	△22
ネット有利子負債 (億円)	97	98	+1
ネットD E R (倍)	0.08	0.08	±0.00

※有利子負債、ネット有利子負債の増減「△」は減少

連結キャッシュフロー計算書

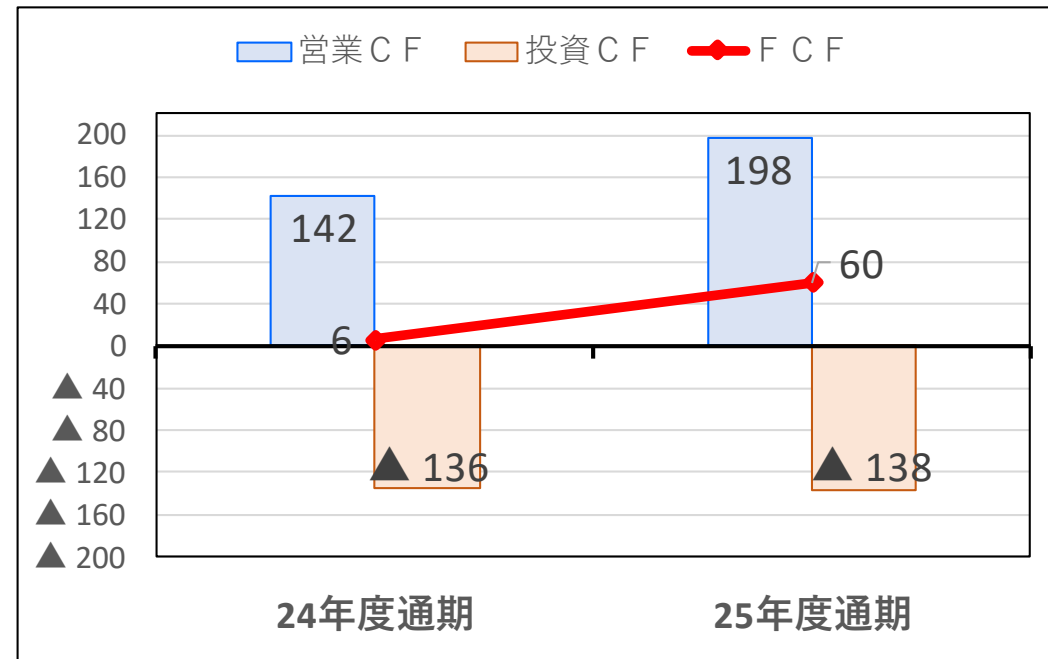
(億円)

	24年度 通期	25年度 通期	前年同期 増減
①営業活動による キャッシュ・フロー	142	198	+55
税金等調整前当期純利益	109	87	△22
減価償却費	115	118	+4
売上債権の増減額 「▲」は増加	43	▲8	△51
棚卸資産の増減額 「▲」は増加	▲34	▲2	+33
仕入債務の増減額 「▲」は減少	▲17	2	+19
その他	▲73	0	+73
②投資活動による キャッシュ・フロー	▲136	▲138	△2
有形固定資産の支出	▲92	▲101	△10
無形固定資産の支出	▲29	▲71	△42
その他	▲15	35	+50

①+②フリーキャッシュフロー	6	60	+54
-----------------------	---	----	-----

③財務活動による キャッシュ・フロー	▲42	▲64	△22
---------------------------	-----	-----	-----

④現金及び現金同等物の期末残高	63	59	△3
------------------------	----	----	----



【設備投資及び減価償却費】

(億円)

	24年度 通期	25年度		25年度 年間計画
		通期	昨差	
設備投資額	130	194	+64	272
内、DX投資(全体)	24	88	+64	127
減価償却費	115	118	△4	120

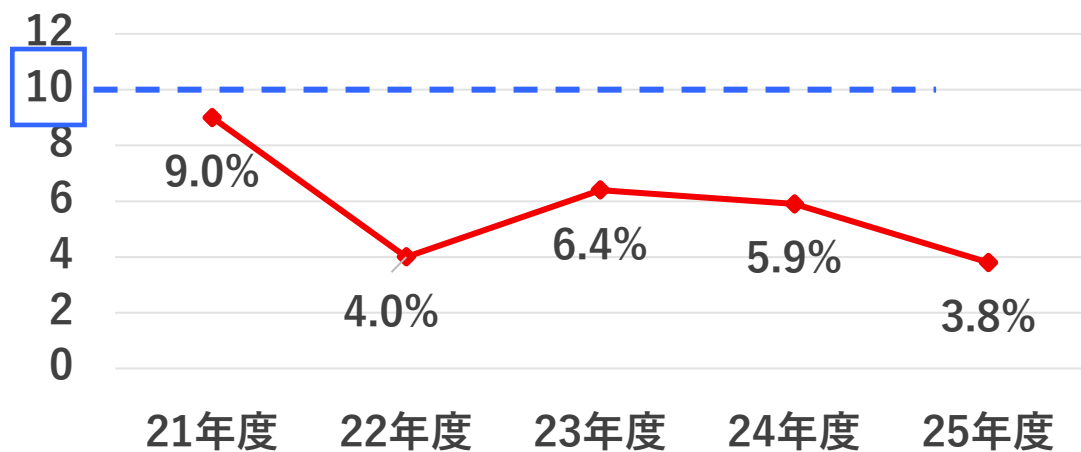
各指標の推移

【各指標】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ROE (%)	9.0	4.0	6.4	5.9	3.8
ROIC (%)	8.7	3.3	5.9	4.6	5.1
ROA (%)	4.5	2.0	3.2	2.9	1.9
株主資本コスト (%)	4.9	4.9	4.6	5.0	5.3
WACC (%)	4.3	4.0	3.9	4.2	4.7
期末株価 (円)	2,202	2,201	2,303	2,222	2,730
PBR _{※1} (倍)	0.99	0.98	0.97	0.94	1.12

※1 PBRは期末株価で計算

ROEの推移



□ …ROE経営目標 10%

【配当金】

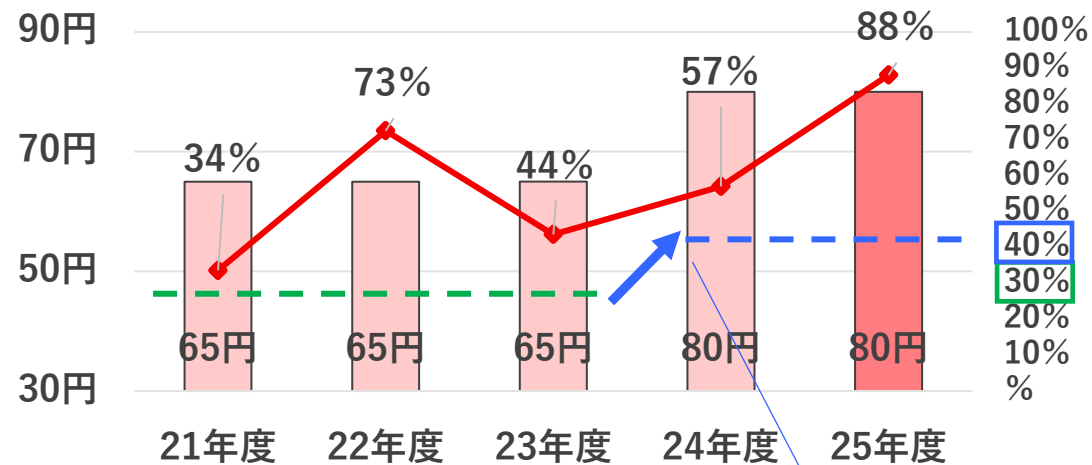
(円)

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1株当たり 配当金	中間	20	20	20	40	40
	期末	45	45	45	40	40
	年間	65	65	65	80	80
配当性向 (%)		34	73	44	57	88
配当利回り _{※2} (%)		1.9	3.0	3.0	3.5	3.6
TSR _{※3} (%)		△35.0	+2.9	+7.6	△0.0	+26.5
前期期末株価 (円)		3,490	2,202	2,201	2,303	2,222
配当性向目標		30%以上			40%以上	

※2 配当利回りは前期期末株価で計算

※3 TSR = (期末株価 - 期首株価 + 期間中の1株当たり配当金) ÷ 期首株価

配当金及び配当性向



□ 配当金 ◆ 配当性向

※配当性向方針 24年度より引き上げ (30%⇒40%)

□2025年度温室効果ガス排出量実績（速報値）

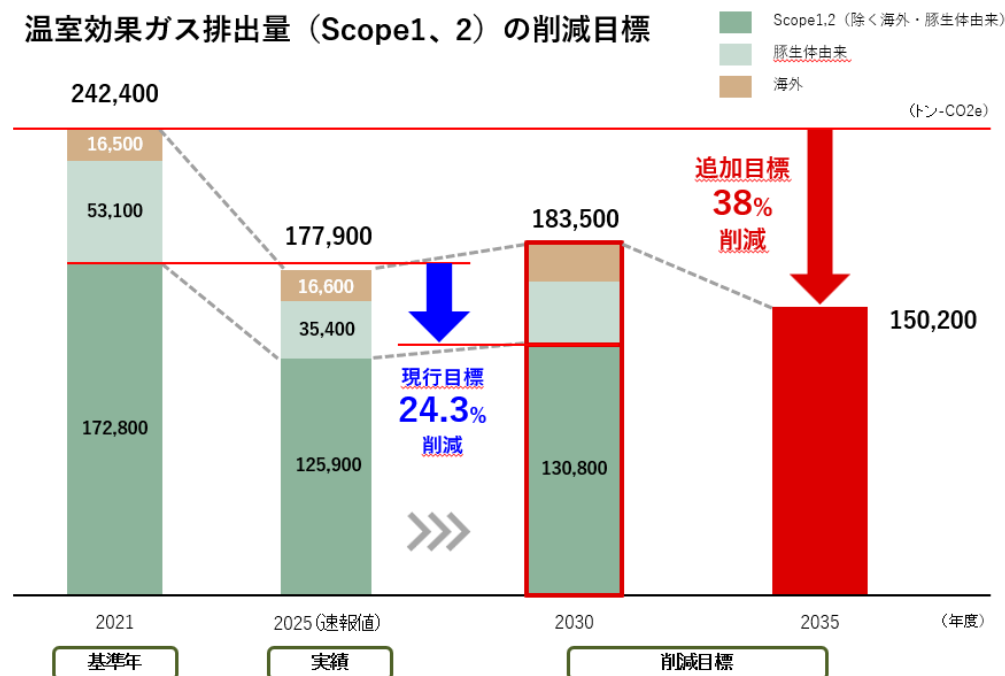
t-CO₂e

Scope1・Scope2合計排出量
(海外拠点・豚生体由来を除く)

2025年度(速報値)	2030年度(目標)
125,900 21年度 27.1%削減	130,800 21年度比24.3%削減

- ・ 2030年目標（海外拠点・豚生体由来を**除く**）は達成見込み
- ・ 2035年目標（海外拠点・豚生体由来**含む**）は、引き続き達成に向けて取り組みを進めていく

温室効果ガス排出量（Scope1、2）の削減目標



□サラダチキンカテゴリで健康配慮型商品の拡充

- ・ 当社初の機能性表示食品の発売（2025年春）
GABA※配合の「サラダチキンバー トマト」及び
MCT※配合の「サラダチキンバー ジンジャー」の2品発売



- ※ GABA : γ-アミノ酪酸 (gamma-aminobutyric acid) のことで、抑制性の神経伝達物質。血圧低減やストレス緩和などに効果がある。
- ※ MCT : 中鎖脂肪酸 (Medium Chain Triglycerides) のことで、食用油の一種。体脂肪の燃焼に効果がある。

□【多様な働き方の尊重、推進】 有給休暇取得率が前年度より10%pt上昇

- ・ 2025年度有給休暇取得率 77%

1

2025年度業績実績

2

2026～2028年度中期経営計画

3

ご参考資料（業績推移）

全社基本方針

営業力・開発力・商品力の強化により、売上と利益の規模と質を高めると同時に、サステナビリティを重視した経営を推進し、「いつも、ずっと、お客様に愛され、支持される会社」になる。

方針1 持続可能な 経営基盤の強化

- ① 資本コストと株価を意識した経営
- ② 人材の確保と育成による変革意識の醸成
- ③ 脱炭素・循環型社会実現に向けた取り組み推進

方針2 外部環境の変化に 対応した収益基盤の構築

- ① 既存事業の基礎収益力の向上
- ② 事業基盤の強化と次世代への布石
- ③ 持続可能なサプライチェーンの構築

方針3 成長投資と グローバル展開

- ① PNPの稼働開始と業務効率化の実現
- ② 伊藤忠商事とのコラボレーションを主体とした国内外事業展開
- ③ 成長領域への挑戦、新技術の開発・導入

営業・マーケティング

□市場シェア拡大

- ▶「香薫あらびきポークウィンナー」認知向上、数量拡大
・香薫キャンペーンの実施



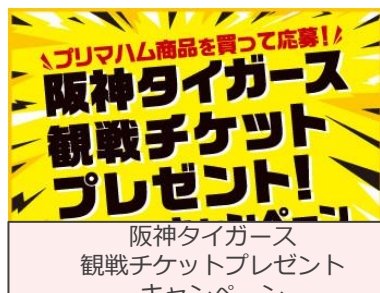
- ▶26年春新商品「ジョンソンヴィルウィンナー」の数量拡大
・TVCM、キャンペーン等による認知向上



ジョンソンヴィルウィンナー
TVCM



- ▶ TVCM、スポンサー、SNS等を活用したファン層の拡大



□冷食、惣菜の強化

□フードサービス事業の強化、拡大

- ▶ 外食、問屋向け ⇒ 新規開拓、既存取引先との取引深耕
- ▶ 業務用向け商品の開発と数量拡大

生産

□シェア拡大に対応した、安定供給体制構築の継続

- ▶ 生産効率上昇に向けた生産ラインでの改善の取り組み
- ▶ 生産能力の増強
- ▶ 自動化、省人化の取り組み

□海外生産事業会社の収益改善に向けた取り組み

□環境配慮の取り組み

- ▶ 代替フロン活用

ベンダー子会社

□お客様の要望に応えた新商品開発と積極的な市場への供給を継続

□グループ各部門と連携した収益改善に向けた取り組み

仕入・販売

□基礎収益力の強化

1.スケールメリット創出

- ・既存取引先との取組深化
- ・加工原料、テーブルミートと連動した購買
- ・川上～川下における物流効率化推進

2.ポートフォリオ強化

- ・新規取引先開拓、外食、卸などの販売チャネル多角化
- ・越境性疾病リスク、為替変動リスク、関税リスクを踏まえた新規産地、仕入先の開発

□外部環境、ニーズの変化に対応した付加価値創出、商品開発

- ・国内一次加工品開発強化
- ・輸出販売の強化
- ・オリジナルブランドの開発、拡販
- ・マーケティング本部と連動した販促活動



養豚・生産事業

□養豚事業再建

- ・既存農場の生産効率改善、設備更新実施

□川上から川下事業のインテグレーションの管理

- ・ボトルネック特定、課題の共同解決

□国内、海外産地開発

□アニマルウェルフェアの取組推進

- ・WOAH指針に沿った自社基準の運用



【宮城農場 巨理（繁殖農場）】

- 推進中のPrima Next Project のStage1について、新システムの品質を担保し、システム切替時の商品供給への影響リスクを最小化するためにリプランを実施。
- 2026年度中にグループ会社から段階的に導入を行い、2027年度 プリマハム本体のシステム切替を行う予定。
- 需給管理システムについては、ERPに先行して2025年度 本稼働を開始

PNPの概要

実施中

Stage 1
 基幹系業務・経営の基盤の再構築

- 全社共通システム構築(ERP導入)
- 需給管理システムの刷新

- システムの刷新に伴い、業務プロセスを標準化・統合化し、経営の土台となる基盤を構築
- レガシーシステムからの脱却、クラウド化の推進

Stage 2
 付加価値業務への基盤拡張

- 生産管理システム刷新、生産工場・養豚事業のIT化推進
- 営業支援・商品開発支援の拡充

- 営業活動や生産活動へ基盤を拡張し、競争力を高める
- 生産・養豚現場におけるロス削減と品質強化

Stage 3
 デジタル革新による将来像の実現

- 新たな商品・サービスの創出
- 消費者接点を高度化
- AI活用

- Stage2で蓄積したデータの利活用により、新たなビジネスモデルの創出
- AI活用により各業務の省人化を図り新規事業領域へのリソースシフトを実施

レガシーシステムからの脱却と全社最適化を行い、デジタル革新技術による価値創造に向けた基盤構築を推進

2026年度連結業績予想・2028年度経営イメージ

	前期実績	2026年度		2028年度
		通期	前年差	通期
売上高	4,756	5,000	+244	5,200
営業利益	91	110	+19	150
親会社株主帰属当期純利益	46	75	+29	100
営業利益率 (%)	1.9%	2.2%	+0.3%pt	2.9%
【連結貸借対照表】				
流動資産	1,037	1,052	+16	1,104
固定資産	1,376	1,505	+129	1,551
総資産	2,413	2,558	+145	2,655
純資産	1,305	1,345	+39	1,452
【連結キャッシュフロー】				
営業キャッシュフロー	198	171	△27	196
投資キャッシュフロー	▲138	▲167	△30	▲204
財務キャッシュフロー	▲64	9	+73	▲9
FCF	60	4	△56	▲8
(参考)				
配当 (円/株)	80	80	±0	80
ROE (%)	3.8%	6.1%	+2.2%pt	7.6%

2026年度連結業績のポイント

- 主力商品であるハムソーセージの更なる伸長に加え、課題事業の収益建て直しにより、営業利益伸長。
- 当期純利益は前期一過性損益反動の影響もあり、大幅増益を見込む。
- 緊迫化する中東情勢に起因する原材料の調達困難、今後包材・エネルギーコスト等の上昇懸念。
- 前期水準の安定的なキャッシュフローを見込み、配当方針は不変（80円/株）。

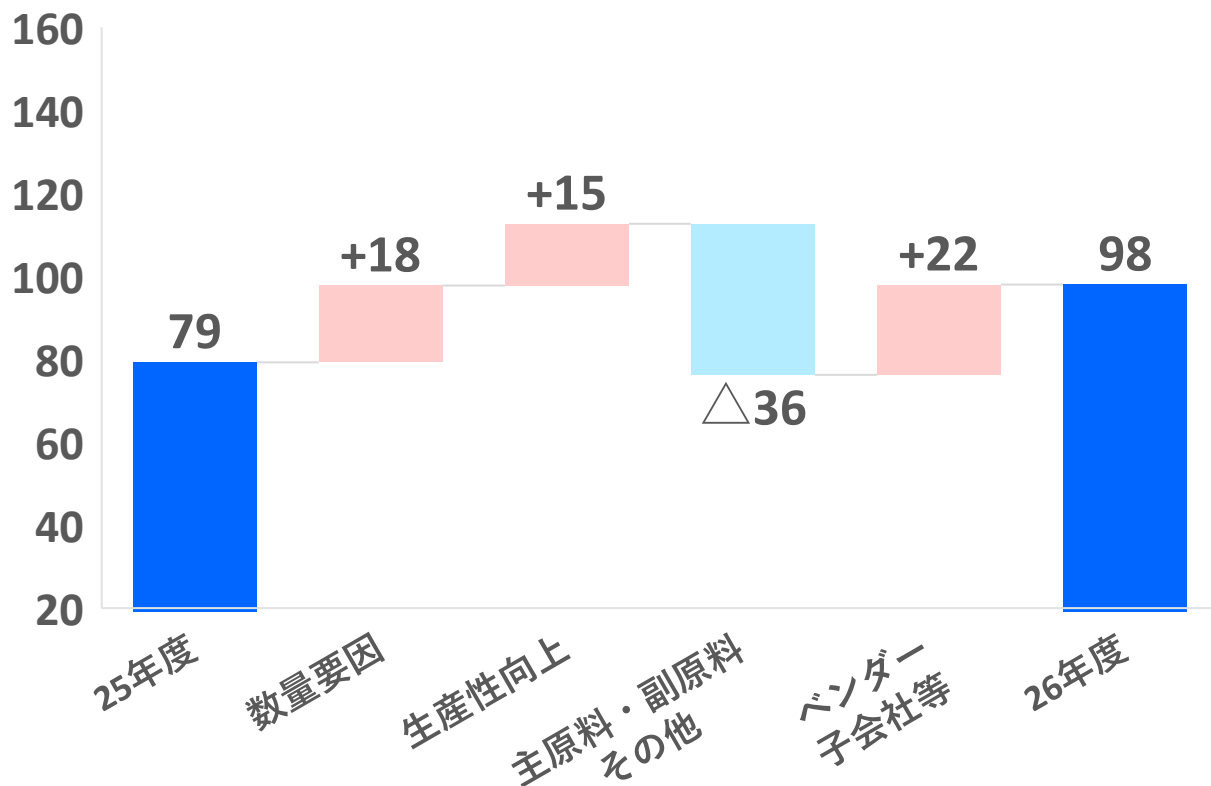
2028年度 経営イメージ

- 既存商品の堅調な伸びを想定し、営業利益150億円、当期純利益は100億円規模。
- 株主資本コストを十分に上回る収益性の改善を図り ROEは2028年度8%達成を目指す。

2026年度営業利益計画要因別増減

【加工食品セグメント】

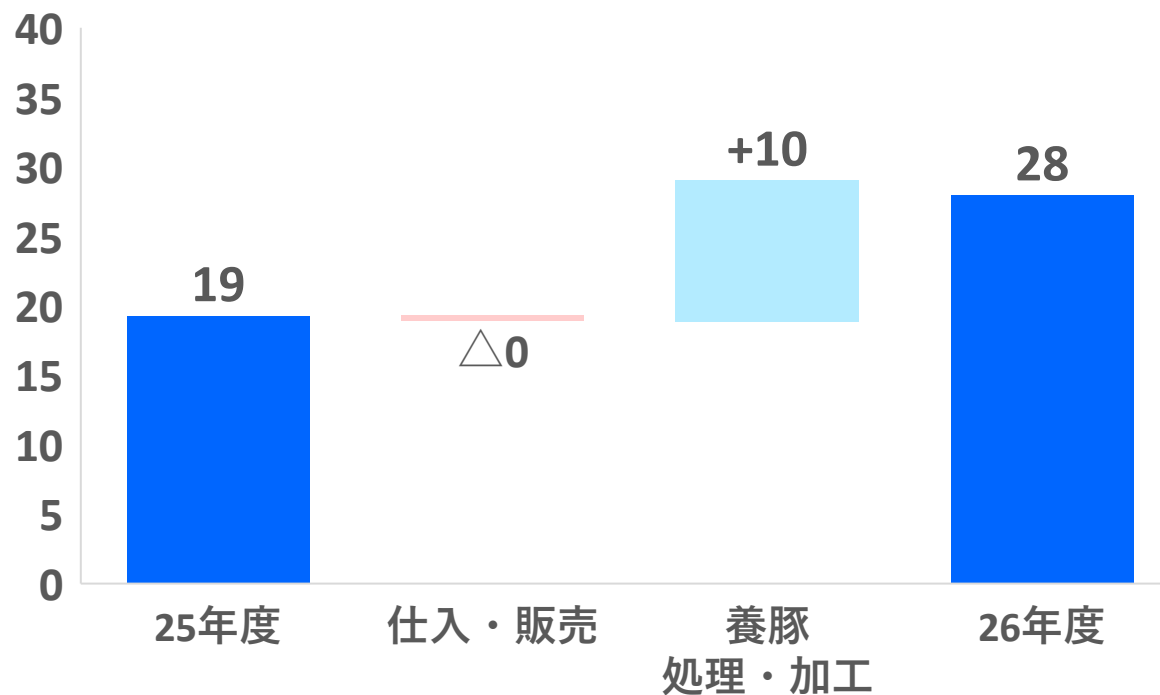
	前期実績	2026年度計画		
		当期	前年差	増減率
売上高	3,146	3,440	+294	+9.3%
営業利益	79	98	+19	+23.6%
営業利益率 (%)	2.5%	2.8%	+0.3%pt	-



【食肉セグメント】

(億円 %)

	前期実績	2026年度計画		
		当期	前年差	増減率
売上高	1,601	1,550	△51	△3.2%
営業利益	19	28	+9	+45.0%
営業利益率 (%)	1.2%	1.8%	+0.6%pt	-



- 安定した営業CFを原資とし、事業基盤の安定・強化に必要な投資の継続と継続的な株主還元を推進。
- 中長期的な成長に資する投資に備え、追加の資金調達を想定。

【キャッシュ イン】
合計約650億円
(約690億円)

資金調達（借入）
約100億円
(約140億円)

営業CF
約550億円
(約550億円)

【キャッシュ アウト】
合計約650億円
(約690億円)

投資
約530億円
(約570億円)

株主還元
約120億円
(約120億円)

長期的な
成長に向けた投資
約350億円
(約330億円)

既存事業の
成長に向けた
基盤構築
約180億円
(約240億円)

配当
約120億円
(約120億円)

- PNP
- 海外展開などの戦略投資
- 国産豚肉インテグレーションの強化
- 研究開発

- 効率化、生産能力増強に向けた生産設備の更新
- 環境関連
- 老朽化設備の更新

- 配当金 80円/株⇒単年度約40億円

1

2025年度業績実績

2

2026～2028年度中期経営計画

3

ご参考資料（業績推移）

【参考】連結損益計算書の推移（2021年度～2025年度）

億円

	セグメント	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			2025年度		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	加工食品事業部門	1,422	1,434	2,856	1,484	1,522	3,007	1,571	1,551	3,122	1,579	1,556	3,135	1,575	1,571	3,146
	食肉事業部門	677	669	1,347	630	665	1,296	653	703	1,356	712	730	1,442	781	819	1,601
	その他	2	2	5	3	3	5	3	3	6	3	3	7	4	5	9
	合計	2,102	2,106	4,207	2,117	2,190	4,307	2,227	2,257	4,484	2,294	2,289	4,584	2,361	2,395	4,756
売上原価		1,827	1,853	3,680	1,871	1,959	3,830	1,968	2,015	3,983	2,040	2,058	4,099	2,096	2,134	4,230
売上総利益		275	252	527	246	232	478	259	242	501	254	231	485	264	262	526
販売管理費		191	180	371	191	189	380	191	192	383	192	203	395	215	219	434
営業利益		84	56	140	55	43	97	68	50	118	62	28	89	49	42	91
営業外損益		4	4	8	4	4	8	6	5	11	6	9	16	7	14	21
経常利益		89	60	149	58	47	105	74	55	129	68	37	105	56	56	112
特別損益		1	1	2	▲1	▲45	▲46	▲5	11	5	8	▲4	4	▲3	▲22	▲25
税金等調整前当期純利益		89	62	151	58	1	59	69	65	134	76	33	109	53	34	87
親会社株主に帰属する当期純利益		53	44	97	37	8	45	39	36	75	43	28	71	32	14	46
営業利益率（％）		4.0%	2.7%	3.3%	2.6%	1.9%	2.3%	3.1%	2.2%	2.6%	2.7%	1.2%	2.0%	2.1%	1.8%	1.9%

【参考】商品別売上高の推移（2021年度～2025年度）

億円

	セグメント	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			2025年度		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	ハム・ソーセージ	491	488	979	510	529	1,039	559	562	1,121	588	597	1,185	624	622	1,246
	加工食品 他	336	338	674	364	368	731	387	381	768	366	380	746	385	398	783
	惣菜（ベンダー子会社）	514	508	1,021	506	510	1,016	535	511	1,046	537	480	1,017	492	458	950
	食 肉	746	752	1,498	722	759	1,481	728	785	1,513	791	816	1,607	846	902	1,748
	そ の 他	15	19	34	16	25	41	18	17	36	12	16	28	13	16	29
	合 計	2,102	2,106	4,207	2,117	2,190	4,307	2,227	2,257	4,484	2,294	2,289	4,584	2,361	2,395	4,756
ベンダー事業除く売上高合計		1,588	1,598	3,186	1,611	1,680	3,291	1,692	1,746	3,438	1,757	1,809	3,566	1,868	1,937	3,805

【参考】ベンダー子会社（1社）

	2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			2025年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	514	508	1,021	506	510	1,016	535	511	1,046	537	480	1,017	492	458	950
営業利益	16	5	21	6	5	11	24	6	30	17	▲14	3	▲5	▲12	▲16
営業利益率（%）	3.2%	1.0%	2.1%	1.2%	1.0%	1.1%	4.5%	1.2%	2.9%	3.2%	-	0.3%	-	-	-

【参考】連結貸借対照表の推移（2021年度～2025年度）

(億円)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績
流動資産	961	958	989	953	1,052	1,032	999	996	1,005	1,037
固定資産	1,213	1,259	1,308	1,346	1,395	1,416	1,426	1,400	1,424	1,376
総資産	2,173	2,217	2,296	2,299	2,448	2,448	2,425	2,396	2,429	2,413

流動負債	744	717	743	749	872	852	799	817	834	853
固定負債	260	275	306	318	308	294	298	277	278	254
負債合計	1,004	992	1,049	1,067	1,179	1,146	1,097	1,094	1,112	1,107
株主資本	992	1,028	1,042	1,040	1,056	1,083	1,103	1,111	1,122	1,117
その他の包括利益 累計額	60	91	97	91	105	110	112	83	91	103
非支配株主持分	118	107	109	100	107	109	113	108	103	86
純資産合計	1,170	1,226	1,248	1,232	1,268	1,302	1,328	1,302	1,317	1,305
負債純資産合計	2,173	2,217	2,296	2,299	2,448	2,448	2,425	2,396	2,429	2,413

期末日為替レート（円/\$）	112	122	145	134	150	151	143	150	149	160
----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----